

左肘内側の症状から始まった成人アトピーの経過（33 歳女性）

症例 ID：001-30-AMk | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

1999 年 5 月末頃から左肘の内側にかゆみが出ました。最初は虫刺されと思い、自宅にあったムヒを約 1 か月塗り続けましたが、かゆみは治まらず赤くなりました。6 月 25 日に A 皮膚科を受診し、外用薬と内服薬を 3 日間使用すると、かゆみはなくなりました。

その 1 週間後に再びかゆみと赤みが出て、A 皮膚科では内服薬のみで経過をみることになりました。7 月末頃、暑さでかゆみが強くなり、B 皮膚科を受診しました。水いぼが原因ではないかとされ、外用薬を処方されましたが、かゆみは取れませんでした。母からアトピーかもしれないと言われ、妹の紹介で 8 月 11 日に松本医院を受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	A 皮膚科で外用薬・内服薬を使用し、B 皮膚科でステロイドが少量入っていると説明された外用薬を使用しました。ムヒやオロナインの使用歴もあります。
製品名	具体的な外用薬名は不明。ムヒ、オロナインの使用歴があります。
強度	不明。
使用期間	1999 年 6 月 25 日以降、松本医院受診前まで短期間の使用歴があります。
中止時期	1999 年 8 月 11 日の松本医院受診後、ステロイドを使用しない方針へ移行しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
1999 年 5 月末	発症	左肘内側にかゆみが出て、ムヒを約 1 か月塗りましたが、赤みが出てきました。
1999 年 6 月 25 日	A 皮膚科受診	外用薬と内服薬を 3 日間使用し、かゆみはなくなりました。1 週間後に再びかゆみと赤みが出ました。
1999 年 7 月末	B 皮膚科受診	暑さでかゆみが強くなり、外用薬を使用しましたが、かゆみは取れませんでした。
1999 年 8 月 11 日	松本医院初診	左肘の症状をアトピーとされ、消毒薬と煎じ薬を開始しました。
受診 2 日後～	初期反応	水いぼのようなものが 2 つ出て、その後たくさん出ました。かゆくて掻くと痛みが出る状態でした。
治療開始 1 か月半	ピーク期	かゆみが強く、掻くと痛くなり傷口ができました。
治療開始 2 か月頃	軽減期	かゆみが少しずつおさまり、きれいになってきました。
治療開始約 4 か月	経過後半	左肘内側のみの症状で、顔や体には出ず、約 4 か月で症状が落ち着きました。血液検査後、ピークを過ぎていると診断。

4. ピーク時期

ピークは、松本医院受診後 1 か月半頃の、左肘内側の強いかゆみ、掻破による痛み、傷口ができた時期です。症状は左肘内側に限られ、顔や体には出ませんでした。

5. 患者さん・家族の困りごと

- ・左肘内側のかゆみが続き、複数の皮膚科を受診しても原因がはっきりしませんでした。
- ・アトピーと説明され、心理的なショックがありました。
- ・かゆみで掻くと痛みや傷口が出ました。

6. 経過のまとめ

治療開始後1か月半頃に強いかゆみと掻破による痛みがありましたが、2か月近くなる頃からかゆみが少しずつおさまり、皮膚状態がきれいになってきました。

症状は左肘内側に限られ、顔や体には広がらず、約4か月で皮膚状態が落ち着きました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。